

	平成 25 年度 第 4 回 NPO 法人介護支援専門員協会鹿児島 理事会
日 時	平成 25 年 12 月 13 日 (金) 18:00~19:00
場 所	寿司ダイニング SUZAKI
出席者	会 長: 大勝洋祐 副 会 長: 宇治野由美子、木場秀逸 常務理事: 阿久根平 理 事: 小湊珠子、佐藤三奈、新地一浩、高野大輔 監 事: 下水流智和
欠席者	理 事: 原田卓也、上釜孝、吉永とも子
内 容	<p>1. 会長挨拶</p> <p>介護保険法の改正時期が近づいており、介護報酬改定なども気になるところである。ケアマネジャーは介護保険の中心的な存在でもあり、介護保険においてケアマネジャーの役割が重要である事を示す必要がある。その為には現実にケアマネジャーが行っている事などを集約しデータ化することも必要となってくると思われる。今後の法改正の動向に目を向けていく必要がある。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 第 1 回鹿児島県認知症疾患医療連携協議会開催について (11/25) (吉永とも子理事欠席にて木場副会長代理報告)</p> <p>認知症疾患医療センター実績報告において、協議会は 2 年目の活動となっており、専門医療相談・鑑別診断・周辺症状への対応・身体合併症への対応の実績報告に大きな変化はなし。連携においては、認知症疾患医療連携協議会を年 2 回開催・かかりつけ医への研修を年 2 回開催・地域包括支援センターの地域ケア会議へ P S W が 3 ヶ月に 1 回参加している。</p> <p>認知症に特化した診療情報提供書の利用については、活用されていない状況があり、オレンジ手帳の利用についても認知度が低く活用が不十分となっている状況がある。</p> <p>現在、パールランド病院が認知症疾患医療センター申請中。</p> <p>鹿児島市セーフコミュニティ分野別対策委員会においても認知症の方への対応を地域で検討していく事としており、課題として認知症についての専門的な助言が出来る機関の活用が不十分である事や地域住民への周知が難しい状況がある。</p> <p>2) 第 2 回居宅委員会研修会報告について (11/22) (小湊珠代理事報告)</p> <p>1. 日 時 平成 25 年 11 月 22 日 (金曜日) 14:00~17:00</p> <p>2. 場 所 かがしま県民交流センター 大研修室</p> <p>3. 出席者 71 名</p> <p>4. 研修名 お口が元気で、身体も元気 ～高齢者の口腔機能を視野に入れたケアプランを作ろう～</p> <p>(内容)</p> <p>講師に認定歯科衛生士: 上原紀子氏を迎え、高齢者の口腔機能を視野に入れたケアプランの作成を目的に高齢期の歯科疾患の状況と課題について講義がある。</p> <p>社会として口腔衛生と嚥下機能改善の必要性の周知が図れていない現状と口腔機能の良し悪しで認知症に影響すること等の口腔機能の重要性と食べる意欲を引き出す事的重要性、口腔</p>

ケアだけでなく嚥下機能の向上を図るためには専門家の介入が重要であることから口腔機能に対するアセスメントの視点が必要となってくる事を考えさせられる研修であった。

#### 研修会アンケート集計結果

研修会内容 「お口が元気で、身体も元気」

参加者 71名 回収 53名 (回収率 74.6%)

【大変良かった: 26名 良かった: 26名 普通: 1名 無回答: 2名】

研修内容として、実際に脳梗塞発症後に初めて嚥下訓練に用いられる大塚製薬エンゲリードゼリーや口で溶けるパンをケアマネ自身が体験出来、口腔機能向上に向けてどのようにケアプランに活かされるかを考えさせられる満足度の高い研修であったことがアンケートの中にも寄せられているが、参加者が少なかった。

口腔機能の重要性について、予防的な視点でケアマネジメントの中にも取り入れていく必要があり、今後も継続して口腔機能の研修を計画していく事を検討する。

### 3. 協議事項

#### 1) 第3回居宅委員会主催 研修会開催について

(小湊珠子 理事説明)

1. 日時 平成26年2月1日(土) 14:00~17:00
2. 場所 かがしま県民交流センター 大研修室
3. 研修内容 「ケアプラン作成に関する研修会」

アセスメントからケアプランの作成までの考え方の理解と本人らしいケアプランの作成が出来ることを目的に開催予定。

研修会場について、県民交流センターにて開催を検討しているが、ケアプラン作成に関する研修会は毎年多くの参加者が見込まれており、150名程度が収容できる会場確保が必要となる。多くの参加者が収容できるホールとしては自治会館があるが、使用料が高く予算内での開催は困難。研修会場については県民交流センターの大研修室と中研修室を確保する事を協議する。

また、第3回施設委員会主催の研修会が1月に開催予定となっており、施設(特養・老健・グループホーム)を対象としてのケアプランの作り方研修会も開催される予定。

アセスメントからケアプランの作成までの流れは同様である事から居宅委員会・施設委員会合同による研修会を実施する事を検討する。

#### 2) 第3回施設委員会主催 研修会の開催について

(原田理事が欠席の為、木場秀逸副会長が代理説明)

1. 日時 平成26年2月1日(土) 14:00~17:00
2. 場所 かがしま県民交流センター 大研修室
3. 研修内容 「個別性を大切にしたケアプランの作り方研修会」

ケアプラン作成について、居宅・施設ともに共通の考え方であり第3回居宅委員会研修会と共同開催とすることで了承。

#### 3) NPO法人介護支援専門員協会鹿児島総会・講演会の開催について

(木場秀逸副会長説明)

1. 日 時 平成 26 年 5 月 31 日 (土)
2. 場 所 鹿児島市民文化ホール 市民ホール
3. 内容 ①総会  
②講演会

講演会の内容について、研修の感想にも地域で高齢者を守るネットワークの形成と地域力を高めるための取り組みについて意見があった事、平成 26 年度介護保険法の改正においても地域包括ケアの推進が大きな軸なってくる事から「地域を動かす」をテーマとして、グループホームから地域課題を提言し、行政・医師会を動かした霧島市の事例について講演してもらう講演会と口腔機能への理解が図られるようにする講演会にて協議する。  
法改正後のガイドラインの配布も行っていく事で協議。

4) 第 3 回主任介護支援専門員フォローアップ研修会の開催について

(阿久根平 常務理事説明)

1. 日 時 平成 26 年 3 月 予定
2. 場 所 かごしま県民交流センター 大研修室
3. 研修内容 「リスクマネジメントについて」(仮称)

今年度行ったリスクマネジメントの講義を基に、リスク管理の実例と事例を用いて研修を行っていく予定。

5) 会計ソフトの購入について

(佐藤三奈 理事説明)

NPO 法人介護支援専門員協会鹿児島会の会計ソフトに不具合が生じ、会計管理が出来ない状況がある。ソフトは協議会開設時より使用しているものであり、会計ソフト自体もバージョンアップしている事からソフトの修復も難しい状況にある事から会計ソフトの購入についての伺いがある。

会計ソフトの購入について一同賛同する。

4. その他


- 1) 会員数について 現時点で 419 名の会員数  
(新規会員 79 名)
- 3) 次回理事会日程 平成 26 年 2 月 10 日開催予定

以上をもって、協議が終了したので午後 7 時 00 分、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 25 年 12 月 19 日

理 事 水場秀逸 

理 事 辛治野由美子 

理 事 阿久根平 